

財団法人 庭野平和財団 御中
コード No : 20-S-007

提出 : 2021 年 4 月 30 日

令和 2 年度「JANIC COVID-19 緊急助成プログラム」 事業完了報告書

国際協力 NGO センター (JANIC)
作成 : 伊藤衆子

1. プログラムの目的

新型コロナウイルス感染拡大に際し、通常活動の継続的な実施が困難になり、緊急支援が必要になった組織・団体に対する庭野平和財団による緊急助成事業の事務局業務を行う。

<対象>

JANIC 正会員(2020 年 6 月 1 日時点)で、以下のいずれかに該当する組織

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響で生活が困窮し、緊急支援が必要な社会の中で脆弱な立場や状況にある人々を継続的に支援している比較的小規模の組織、団体。
- ② 開発途上国での新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動、新型コロナウイルス感染拡大の影響で生活が困窮し、緊急支援が必要な社会的弱者への支援をすでに行なっている比較的小規模の現地の住民組織、団体などと協力して行なう活動 [消毒液等の医療物資支援や感染拡大防止のための意識啓発活動] を実施、或いは計画している日本の組織、団体。
- ③ 上記を含め、新型コロナウイルス感染拡大により、2020 年度の通常活動の継続的な実施が困難になったため、緊急に支援が必要になった組織、団体。

<助成費目>

- ・食料や生活必需品、マスクや消毒薬等の物資の購入費用、感染予防に関わる費用や生活維持のための費用等。
- ・2020 年度の通常活動を実施するために必要な組織基盤の維持にあたる人件費等の費用の一部。
- ・その他、コロナ禍において有効と考えられる活動の費用。

2. 主な活動内容・スケジュール

【主な活動内容】

(1)NPF プログラム「緊急助成」募集要項作成・募集・相談対応

- ・ 募集要項、応募用紙作成
- ・ 募集広報：2020年6月5日～6月15日
- ・ 相談対応

(2)応募受付・優先順位付け

- ・ 応募受付
- ・ JANIC として助成優先順位付け、庭野平和財団に提出する
 - ▶ 優先順位付け項目

A：正式に申請がされて、審査できる状態で書類が整っていることを確認する。

【問題なし：○/一部不十分：△/不十分で受付不可：×】

B：申請内容が助成趣旨に合致していることを点数付け。(3 職員が合議で決定)

- 【1】 「2.活動内容」 助成対象に合致している
- 【2】 「3.今回の緊急助成が必要となった理由」 合理的である
- 【3】 「4.達成目標」 合理的である
- 【4】 「4.達成後に期待される成果」 助成趣旨に合致している
- 【5】 「5.支出計画」 4 達成のために現実的である
- 【6】 「6.実施スケジュール」 4 達成のために現実的である

C：申請書に反映されない情報も含めて JANIC として総合判断をし、優先順位を決定する。(事務局長)

A・B 以外の状況を含めた総合評価

申請書以外の情報による総合判断

その理由

【優先順位高い：◎/優先順位低い：×】

【スケジュール】

募集要項作成	募集要項作成	5/20～6/4
募集広報	広報	6/5～6/10
応募に関する相談	メール転送	6/1～7/31
	問合わせへの対応	6/1～7/31
	想定問答集作成	～6/10
	庭野平和財団確認問合せ	6/1～7/31
応募書類受付	応募書類の管理	
	・ リスト作成 ・ 書類の保存	～6/15、～6/30
応募書類確認	応募書類の不備確認	～6/15、～6/30
	不備連絡担当	～6/15、～6/30
優先基準の作成	応募書類の審査基準を作成	6/12
	応募書類リストに採点列を入れ込み作業	6/15AM
優先順位付け	各応募書類に各署員が点数をつけ、優先順位をつける	6/15PM
	優先順位の確認	6/16AM
財団連絡	書類審査の結果リストや応募書類の送付	6/16 昼

3. 活動の成果

助成上限額（1案件あたり）50万円~100万円、助成総額：「400~600万円」として公募を行い、20団体からの応募があり、庭野助成財団の審査委員会で申請書の審査を行い、8団体への助成が決定した。

6月（8団体採択/20団体応募）		
結果	団体名	金額
○	パレスチナ子どものキャンペーン	1,000,000
○	カレーズの会	1,000,000
○	Alazi DreamProject（略称NPO法人アラジ）	1,000,000
○	PHD協会	533,000
○	アジアキリスト教教育基金	1,000,000
○	アイキャン	650,000
○	リトル・ビーズ・インターナショナル	700,000
○	ESAアジア教育支援の会	870,000
	JLMM	
	アクセプト・インターナショナル	
	IVY	
	環境修復保全機構	
	CFFジャパン	
	シャプラニール=市民による海外協力の会	
	地球の友と歩む会	
	イカオ・アコ	
	国際子ども権利センター	
	聖地のこどもを支える会	
	アジア協会アジア友の会	
	オイスカ	

4. 今後の課題

- ・ コロナ禍で影響を受けている NGO の状況とニーズの把握。
- ・ 庭野平和財団との連携による同様の事業企画とスピーディな実施による NGO 支援。

以上